

第 15 回目（1994 年 1 月 29 日放送）

【いろはがるた】

「負けるが勝つ(勝ち)」: Victory in defeat.

【話の内容】

前回の放送で話したクリスチャンソルジャーのことについて電話がかかってきて、キリスト教の話して欲しいとの要望があった。そこで、ハワイのキリスト教について話す。

ハワイ日系人のキリスト教のはじまりは 1885 年 2 月のシティーオブトーキョー号に乗って到着した 900 人ほどの第 1 回移民にさかのぼる。ハワイ伝道協会のハイド博士(Charles McEwan Hyde か)は日系人移民への福音伝道の必要性を感じており、クイーンエマホールにて英語でされた説教を、アメリカの神学校に通っていたアオキという人に日本語に通訳させた。ところが、2 年後アオキはアメリカに帰り、安藤太郎総領事が通訳をひきついだ。

そして次に大切なハワイ日系人のキリスト教の話といえばオアフ島にあるヌアヌキリスト教会のことである。1887 年 9 月にメソジスト教会の美山貫一牧師はサンフランシスコに来ていた伝道協会と協力しながら日本人への伝道活動を行った。1888 年には総領事の安藤太郎他 11 名が洗礼をうけ、ホノルル教会ができた。4 年ほどすると、ハワイからメソジスト教会が撤退することとなり、美山牧師もハワイを離れアメリカ本土へと去って行った。ハワイ伝道協会はキリスト教伝道を続けるため、ヒロ日本人キリスト教会の岡部次郎牧師をホノルルへ呼び、教会活動を続けた。その次にやってきたのが奥村多喜衛であった。やがてホノルル教会は、ヌアヌキリスト教会となり、堀貞一牧師や田村清牧師らを迎えた。

ハワイ島のヒロキリスト教会は 1888 年に、サンフランシスコからやってきた組合派の岡部次郎牧師によってはじめられた。ハワイ伝道協会では、2 万 5 千人の日本人労働者にキリスト教を普及すべく、岡部の力を借りて日本から数々の牧師を呼び寄せた。1892 年には奥亀太郎、高森貞太郎¹、江上源三らがハワイへ渡り、1894 年には杉山牧師、曾我部四郎、佐々倉代七郎牧師、奥村牧師が到着した。ホノルルのハリス協会は、1894 年にサンフランシスコから来た木原外七牧師がメソジスト教会再建のために奮闘し、1898 年にリバー通りに教会堂ができたがペスト病のために焼くことになってしまった。1901 年には本川源之助牧師がやって来て、教会堂を再築し、その後も様々な牧師がやってきた。

マウイ島のラハイナ教会は、1895 年木原牧師の時代に始まった。時政英作牧師ら

¹ 梶原一騎の祖父。

が来て続いてきた。オアフ島マキキ教会は、1902 年に奥村多喜衛が作った教会である。今もあるマキキ聖城教会は 1932 年に建てられた。大久保がハワイへ渡ったころはまだ木造の建物であった。

【曲】

「上海航路」(歌: 松平晃・コロンビア女性合唱団)

【サブジェクトタグ】

キリスト教 ホノルル教会 ヌアヌキリスト教会 ヒロキリスト教会 安藤太郎 岡部次郎 美山貫一 奥村多喜衛